I

CD／MP3／WMA

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

CDモード TOP画面(例)



MP3モード TOP画面(例)



① **詳細 ボタン**
トラックの詳細情報を表示します。☞ I-5

② **トラック ボタン**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。☞ I-5

③ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。☞ H-11

④ **Quick ボタン**
Quick MENUを表示します。☞ B-23

⑤ **フォルダ⊖ ボタン**
前のフォルダに戻ります。☞ I-4

⑥ **フォルダ⊕ ボタン**
次のフォルダに進みます。☞ I-4

アドバイス

- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ H-2を参照ください。

表示部(再生画面)について

CDモード TOP画面(例)



MP3モード TOP画面(例)



①再生状態表示

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

表示内容につきましては☞ H-11 を参照ください。

③再生時間表示

④アルバム名表示

⑤フォルダ名／アルバム名表示

⑥アーティスト名表示

⑦トラック名表示＊

⑧再生ファイル表示

選択中のファイルを表示します。

MP3 ／ WMA

アドバイス

- CD／MP3詳細表示画面の場合、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字で、WMAの場合は、全角32(半角32)文字です。また、MP3／WMA詳細表示画面の場合の、ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実在と異なって表示される場合があります。
- アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、" No Title" と表示されます。

＊印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。

CD ／ MP3 ／ WMA を使う

好きなフォルダを選ぶ

※MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ をタッチする。



トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 **トラック をタッチする。**

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))



アドバイス

TOP画面は選択する 詳細 ／ トラック によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)



詳細表示

トラック タッチ →

← 詳細 タッチ

CDモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2 **再生したいトラックをタッチする。**

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ H-9
- CDモード時のトラックリストについて
  - ・トラックリストにはトラック名が表示されます。
  - ・TOP画面を詳細表示に戻したい場合は 詳細 をタッチしてください。(上記アドバイス参照)

MP3／WMAについて(1)

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

● 再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio＊1
対応サンプリング周波数	☞I-10参照	☞I-11参照
対応ビットレート＊2		

＊1印…●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
＊2印…● 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
●VBR(可変ビットレート)に対応しています。
● フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

● 使用できるメディアについて

・MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
　※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
・一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
　※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● ファイル名について

・MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
・MMP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

● ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

・ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は全角15(半角30)文字、2.xは全角32(半角64)文字です。
・ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
・本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角32(半角32)文字です。
※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、"Track at once"で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

● MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

● MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

● 使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(＊)およびレベル2(＊)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

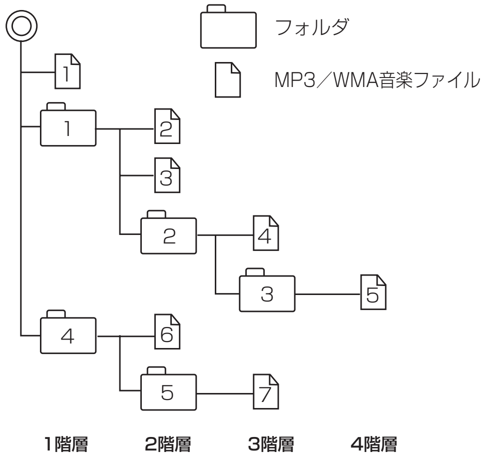
上記フォーマット(＊)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

・最大フォルダ階層　：8階層
・最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角、半角ともに32文字
・フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
・1フォルダ中の最大ファイル数　：255
・1メディア内の最大ファイル数　：512(ファイル数＋フォルダ数)
・最大フォルダ数：100
・マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
・パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

● MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

● インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは"取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)"の項目にチェックを付けないでください。

● CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

● SDカードに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているSDカード・スロットを介してSDカードに書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクやSDカードにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

MP3 ／ WMAについて(3)

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	−	○
22.050	−	○
24.000	−	○
32.000	○	−
44.100	○	−
48.000	○	−
ビットレート(kbps)		
8	−	○
16	−	○
24	−	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	−	○
160	○	○
192	○	−
224	○	−
256	○	−
320	○	−
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。